

島根県 GAP 生産者協議会設立趣意書

新型コロナウイルスの発生や度重なる自然災害の発生など、社会の基軸が大きく変わろうとする中、安全安心な食品へのニーズに対応しながら持続可能な農業経営を行うことが、農業者の私たちにとって、最も重要な課題です。

こうした中で、私たちが取り組んでいる GAP はこれらの課題解決に大きな役割を果たしており、近年注目もあびています。実際に、食品事故のリスク軽減や、作業のムダの削減、ムリな作業による労働災害のリスク低減や環境への負担低減など、農業経営の見直しを図り、経営改善に向けた具体的な対策を取ることができる GAP は、私たちの農業経営において、大きなメリットをもたらしていると実感しています。

しかしながら、島根県ではまだまだ取り組む農業者が少なく、GAP のメリットを最大限に活かした農業経営が展開できているとは言えない状況です。

今こそ、今後デファクトスタンダード（事実上の標準）となる GAP に取り組むことで生まれるメリットを生産者が享受し、さらには消費者から信頼される農産物を生産し、積極的に情報発信していきながら、将来にわたって農業経営を続けていける礎をつくる時であると考えます。

そのためには、個々で解決することができない農業経営や販路拡大等の課題に向かい、共に考え、活動し、情報共有やコミュニケーションを図る組織が必要であることから、GAP を活用した農業経営の発展を図ることを目的として、ここに「島根県 GAP 生産者協議会」を設立します。

令和 2 年 11 月 10 日

島根県 GAP 生産者協議会
出席者一同